

Styling Kit KG-07

フロントグリル No.KGA1 V4 220

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ「スタイリングキットKG-07」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付けるときの注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。また、作業終了後には本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。

1. 本書に記載する説明にしたがって作業を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の加工・改造・分解および、車両の改造は行わないでください。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備書を参照に作業を行ってください。
4. 下記に記す適合車種以外には絶対に取付けしないでください。
5. 製品の浮きや剥がれ防止のため、両面テープ接着時は十分に圧着してください。また、取付作業後24時間以内に洗車や雨天走行は絶対に行わないでください。
6. 製品装着後に360° ビュー・モニター・システム フロントカメラのエーミング調整が必要となる場合があります。
7. フロントモニターの画面に映るフロントグリルは、純正とは異なる見え方をします。

警告

本製品はミリ波レーダー(SBS/MRCC)およびAT誤発進抑制機能の作動保証をするものではありません。前走車の種類や状況、道路状況、天候状況、障害物の形状などによっては適切に作動しない場合があります。

ミリ波レーダー(SBS/MRCC)機能は、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の低減を目的としています。各機能には限界がありますので、過信せず、安全運転を心掛けてください。

警告

レーダーセンサーが誤作動し思わぬ事故につながる恐れがあるため、本製品を塗装したり、ステッカー(透明なものを含む)およびエンブレムなどを貼付けたりしないでください。

適合車種

CX-8 (KG2P-450001~/KG5P-350001~) 全車

構成部品

No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
①	フロントグリル	ABS製 ピアノブラック・艶消し黒 塗装済	1	④	ワッシャー	M4 13Φ t=1	2
②	トラスボルト	M4×12mm	10	⑤	トラスボルト	M5×8mm	2
③	フランジナット	M4	8				

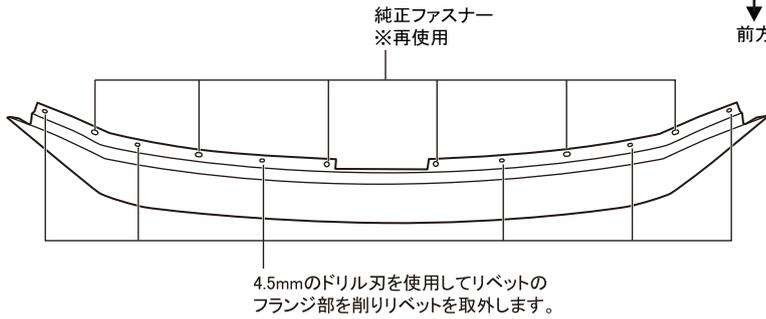
装着手順

1. 車両からフロントバンパーを取外し、図1を参照しアッパーフェース、カバーを取外します。
アッパーフェースはリベット6箇所を破壊し、純正ファスナー(6箇所)を取外し、カバーはリベット2箇所を破壊します。
取外した純正ビス、純正ファスナーは再使用します。
2. 図2を参照し、カメラステーとフロントマスコットとフロントバンパーリテーナーを取外します。フロントマスコットから取外した純正ビス3箇所とフロントバンパーリテーナーから取外した純正ボルトとクリップナットは再使用します。
3. 図3を参照し、フロントバンパーからロアグリルモールディングを取外します。取外した純正ビスは再使用します。
4. 図4を参照し、フロントバンパーからラジエーターグリルを取外します。
5. 図5を参照し、フロントバンパー切除加工を行います。
6. 図6を参照し、手順2で取外した純正ビスを使用し、①フロントグリルにフロントマスコットを移植します。
7. 図7を参照し、フロントバンパーに①フロントグリルを取付け、ロアグリルモールディングを復元します。
8. 図8を参照し、アッパーフェース、カバーをフロントバンパーに復元します。
アッパーフェースは、手順1で取外した純正ファスナーと、②トラスボルトと③フランジナットを使用して復元します。
カバーは、②トラスボルト、④ワッシャーと③フランジナットを使用して復元します。
9. 図9を参照し、②トラスボルトと⑤トラスボルトを使用して、カメラステーを①フロントグリルに取付けます。
10. 図10を参照し、手順2で取外した純正ボルトとクリップナットを使用し、①フロントグリルにフロントバンパーリテーナーを移植します。
11. 図11を参照し、フロントバンパーを車両に仮止めし、カメラが正常に作動することを確認してから、フロントバンパーを車両に復元し、作業完了です。

図1 アッパーフェース、カバーの取り外し

1: アッパーフェース取り外し

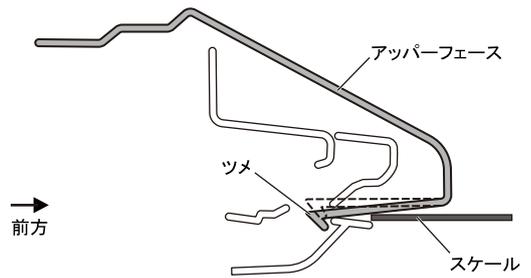
アッパーフェース上面図



4.5mmのドリル刃を使用してリベットのフランジ部を削りリベットを取外します。

ツメの外し方 (A-A')

○ の位置にスケール等の薄くて強度のあるものを差し込み、アッパーフェースのツメを押し上げて取外します。



2: カバー取り外し

アッパーフェース取り外し後、上面図

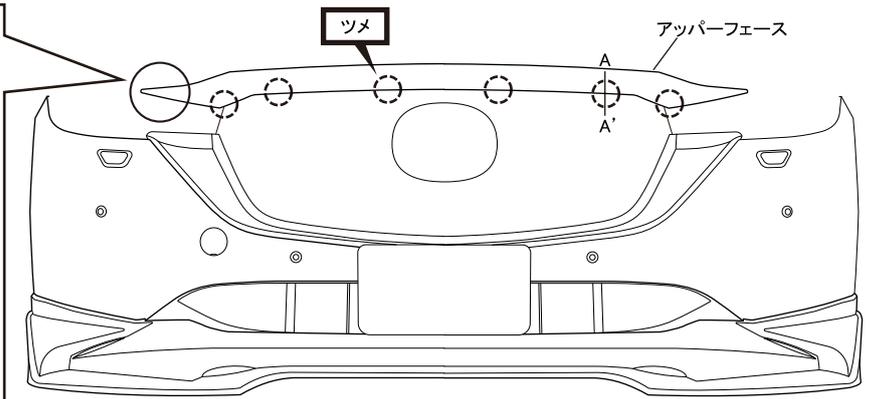
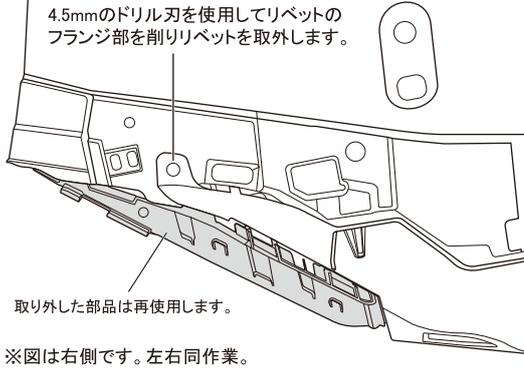
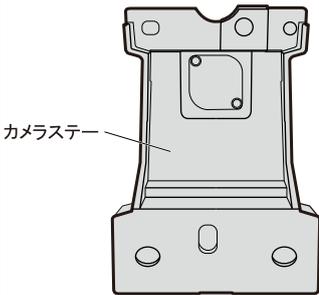


図2 カメラステー、マスコット取り外し

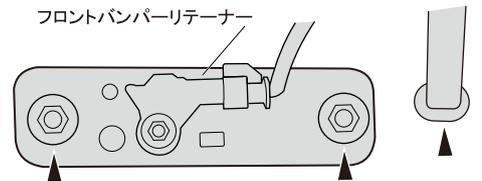
カメラステーの取り外し

純正ビスを取外し、カメラステーを取り外します。
※カメラはカメラステーから取り外しません。



フロントバンパーリテーナーの取り外し

純正ボルトを取外し、フロントバンパーリテーナーを取り外します。
その際、純正ボルトと締結されているクリップナットも取り外します。
※センサーはフロントバンパーリテーナーから取り外しません。



フロントマスコットの取り外し

ラジエターグリルからフロントマスコットを取り外します。
取外したビス3個は再使用します。

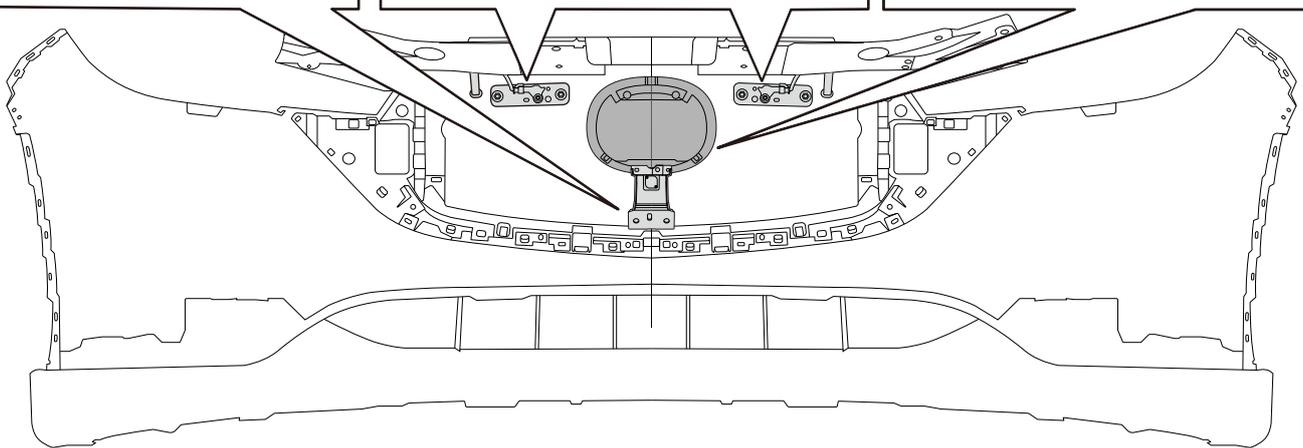
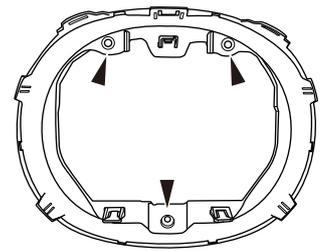


図3 ロアグリルモールディング取外し



図示の純正ビス8箇所を取外し、ロアグリルモールディングを取外します。
取外した純正ビス8個は再使用します。

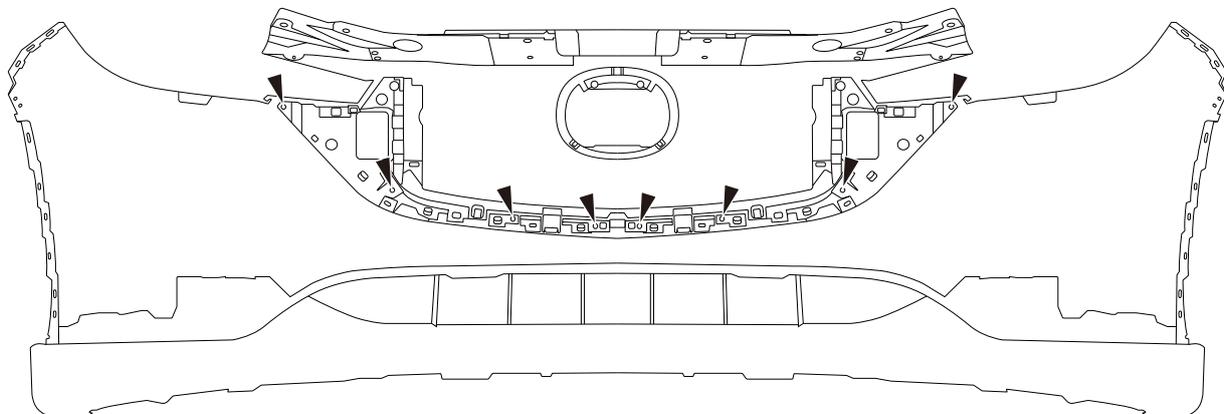


図4 純正ラジエーターグリル取外し

図示の純正ビス6箇所と純正ファスナー2箇所を取外し、純正ラジエーターグリルを取外します。
取外した純正ビス6個と純正ファスナー2箇所は再使用します。

▼=純正ファスナー
○=純正ビス

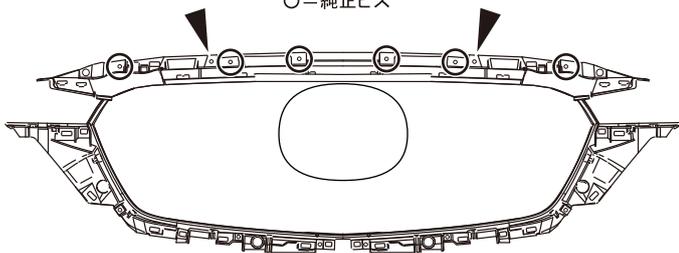


図5 フロントバンパー切除加工

図の斜線部の切除加工を行います。
※図は右側です。左右同作業。

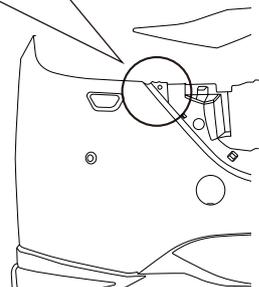
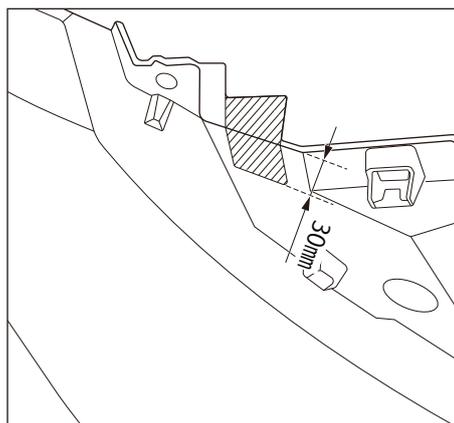


図6 フロントマスコット移植

3箇所に純正ビスを使用し①フロントグリルにフロントマスコットを固定します。

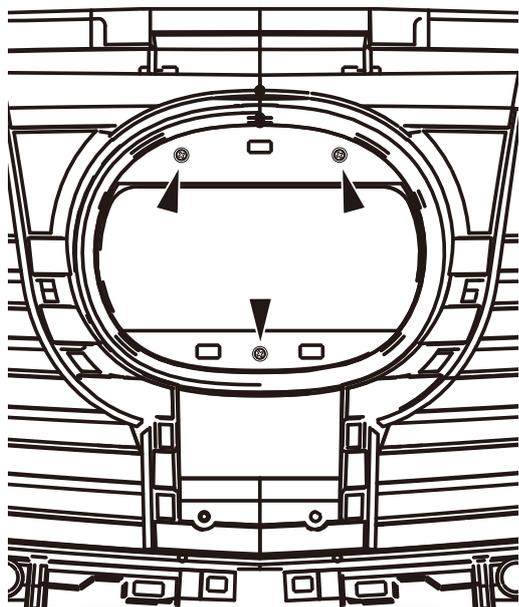


図7 ①フロントグリル取付け、ロアグリルモールディング復元

図3、図5で取外した純正ビス12個を使用し、①フロントグリルをフロントバンパーに取付け、ロアグリルモールディングを復元します。

▼=純正ファスナー
○=純正ビス

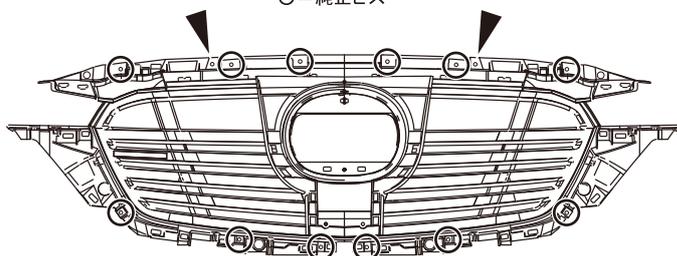
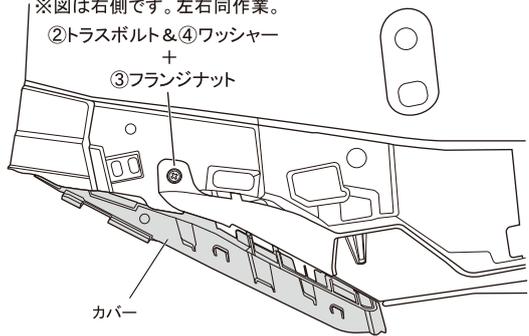


図8 アッパーフェース、カバー復元

1: カバーの移植

図1で取り外したカバーを移植します。
※図は右側です。左右同作業。

- ②トラスボルト&④ワッシャー
- +
③フランジナット

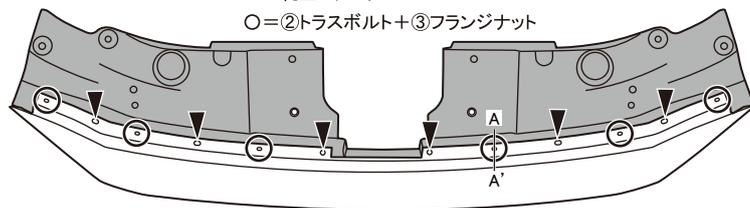


カバー

2: アッパーフェースの復元

図2で取外した純正ファスナー6個と、②トラスボルトと③フランジナットを使用し、アッパーフェースをラジエターグリルレインフォースメントに取付けます。

- ▼=純正ファスナー
- =②トラスボルト+③フランジナット



A-A' 断面図

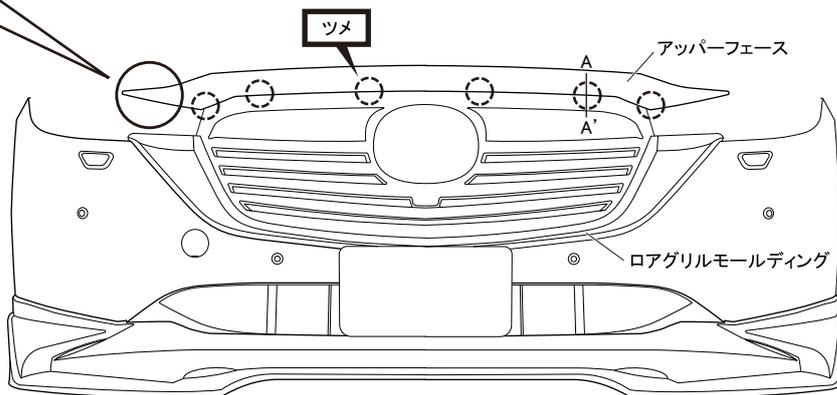
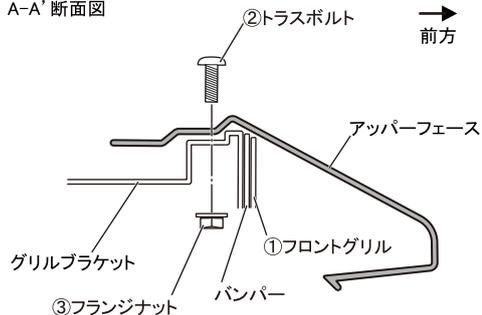


図9 カメラステー取付け

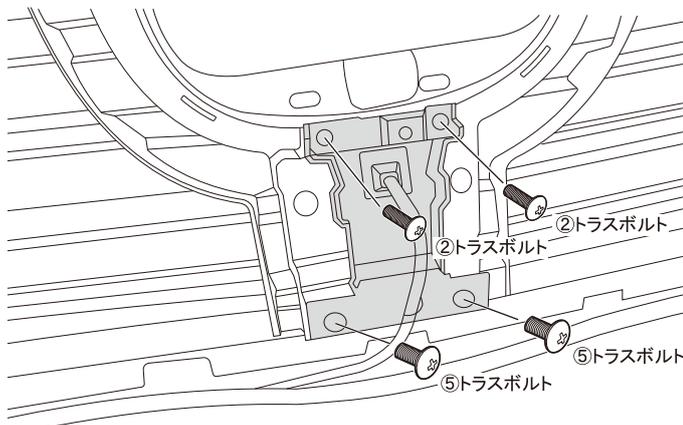


図10 フロントバンパーリテーナー取付け

図2で取外した純正ボルトとクリップナットを使用し、①フロントグリルにフロントバンパーリテーナーを移植します。

